

※ 解答は、《解答らん》に書きましょう。

小学六年生の田川さんは、校区の中学校で開かれた俳句集会を見学しました。次のAからCまでは、各学年の最優秀作品とその解説です。

A

### 祖母が植え母が育てたかすみ草

わたしが詠んだのは、母が庭の植物に水をやっている光景です。かすみ草は、大好きなおばあちゃんが家に遊びに来たときに植えてくれたものです。おばあちゃんと母がリレーでつないでいるかれんな命を表現しました。

B

### 祖父思い見上げた空に五月晴れ

わたしの祖父は、昨年大きな病気を経験し入退院をくり返しています。しばらく会っていないおじいちゃんは、だいじょうぶかな。雲一つない青空のように、病気がすつきり治ってくれたらいいな、という願いを込めました。

C

### 虫つれて島から届く新キヤベツ

離島に住む祖母から送られてきた、新キヤベツを取り上げました。祖母は、農薬を使わず野菜を育てているので、ときどき小さな虫がついています。農薬を使つたきれいな野菜より、愛情がこもった作物のほうがおいしいよ、とほこらしそうに詠みました。

集会のあと、田川さんは、交流会にも参加し、Aの俳句を作った、中学一年生の南さんと話しました。次は、二人が話した内容の一部です。

### 【対話】

田川 「南さんの俳句で、最も印象的なのは、調子のよさです。」

南 「最初は、題材であるかすみ草と、小さな命が祖母から母へとリレーされていることを組み合わせようと考えました。そこで、

#### かすみ草祖母から母へと命のリレー

としてみたのですが、これでは、五・七・五のリズムに合わず、『命のリレー』が何を表しているのかが分かりにくいため、五・七・五の音数で、しかも、祖母や母の動きがよく分かる表現に改めました。」

田川 『祖母が』と『母が』『植え』と『育てた』がそれぞれ対になっているところが、調子のよさにつながっているのだと思います。」

南 「そうですね。このような表し方は、江戸時代の俳句にも見られます。」

【二ページ】

一 次は、集会の中で語られた感想の一つです。——線部は、どの俳句について語っていますか。AからCまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

三つの俳句とも、祖父母を思う気持ちにあふれています。それに加えて、この俳句からは、「またやってきた」という発見の喜びが伝わってきて、ほほえましい感じがします。

二 次の俳句には、【対話】の——線部「このような表し方」と同じ表し方をしている部分があります。あとの例にならって、その部分を□で囲みましょう。

菜の花や月は東に日は西に 与謝蕪村

〈例〉

祖母が植え母が育てた かすみ草

三 田川さんは、次の南さんの俳句の作り方を参考にして、あとの俳句を作りました。

南さん

《題材を決め、表したいことを自由に書く》

今日も、庭の植物に水やりをする母を見かけた。近づくと、祖母が家に来たときに種を植えたかすみ草が、たくさんの花をつけている。祖母から母へと、小さな命がリレーされていることに気づいた。

《言葉を選んで、俳句らしくする》

かすみ草祖母から母へと命のリレー

《リズムや言葉の使い方こだわって、俳句を仕上げる》

祖母が植え母が育てたかすみ草



田川さん

《題材を決め、表したいことを自由に書く》

Large dashed rectangular box for writing a haiku.

《言葉を選んで、俳句らしくする》

目かくしのタオルにびびいた右左

《リズムや言葉の使い方こだわって、俳句を仕上げる》

スイカわり「右」「右」「左」「そこ」で打つ



右の□に入る文章を考え、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 三つ以上の文で書くこと。
- 八十字以上、百字以内にとどめて書くこと。



シート 13 正答例

一 〇

二 菜の花や 月は東に日は西に

三 (例1)

夏休みに家族で海に行ったとき、初めてスイカわりを体験した。目かくし用のタオルでおおわれたぼくの耳に「右」「左」の音がいつもとちがった感じで聞こえてきた。「そこ」の一声で、ぼくはスイカを打った。(97字)

(例2)

祖母の畑ではたくさんのスイカがとれます。わたしたちは、小さめのスイカを選んで、スイカわりを楽しみます。タオルで目かくしをしたわたしのたよりは、弟の「右」「左」「そこ」の音です。(88字)